

ネットワーク通信

NO. 6 (H24. 9. 3発行)

長井市社会福祉協議会
〒993-0011
長井市館町北6-19
TEL:0238-88-3711

お盆も過ぎ、日もだんだん短くなってきますね。過ごしやすい季節になってきますので、体を動かしたり、遠出したりと、みなさんなりの秋を満喫してください。

～鈴木酒造店長井蔵の社長 鈴木 大介さんを訪ねて～

H24.7.26

震災後のH23. 11月に長井に引っ越してきたので、8ヶ月たちました。

長井の東洋酒造が廃業するという情報を山形の酒造組合から聞いたのが、長井に来たきっかけでした。

福島県内にも酒造りが出来る所がありましたが、早く酒造りが再開できることが、長井で酒造りをする決め手となりました。

長井の水はきれいでおいしくて良い水ですが、浪江の水も特徴があつて良い水でした。

ここに来て最初に造った酒は、浪江で造っていた酒と同じく出来上がり、うれしかった。今は、手さぐりで自分の感覚で酒造りをやっています。また、以前は冬期間だけ酒造りをやっていたのですが、これからは夏場も酒造りが出来るように設備を備えています。

震災後、福島の人達が元気が出るようお酒を届けたり、お酒が飲めない子供や、仮設住宅での暖取のために、甘酒用の酒粕を持っていったりしています。(長井では、こうじて甘酒を作りますが、福島の浜通りでは酒粕で作るのが常だそうです。)

今年の新商品として、夏期限定で「標葉(しねは)にごり」というどぶろくに似た味の純米吟醸酒を仕込みをして販売しております。浪江町と双葉町と大熊町を一括りにして、標葉と呼んでいるのでその名前をとってつけています。

一年を通しては、「磐城壽」という浪江町からの銘柄と「一生幸福」という東洋酒造の銘柄の酒を造っています。

とてもおいしいお酒です。皆さんにぜひ飲んでほしいと願っています。そして、福島へのおみやげとしても、大変喜ばれているとのこと。

なお、お酒は市内の酒店と物産館で購入できます。

鈴木大介さんの信念は、
「今、自分でやれることを精一杯
やることしかない」
「人が集まれる場所、楽しんで
もらえる場所をつくるためにも、
酒造りをがんばる」
と意欲をもやしておりました。

鈴木大介さん、がんばって下さい。
応援しています。



ももキッズご案内



夏休みも終わりましたので、場所は中央児童センターへ戻ります。
暑さも弱まり、遊ぶのにいい季節になってきますので、ぜひ、ご利用下さい。
活動日：毎週火・金曜日の午前中
9月は毎週、児童センターが利用できます。



福幸ファーム



福幸ファーム稲刈り体験参加者募集
日時：9月22日(土) 9時～13時
場所：福幸ファーム田んぼ
やんちゃたんぼ
参加料：無料 雨天順延あり

裏面もご覧ください。

🌻 9月のイベント情報 🌻

◎折り紙を楽しもう(避難者の方の交流会)
日時：9月13日(木) 9:30~11:30
場所：老人福祉センター 料金：無料
申込：84-2111 内線(370) 横山まで
(但し、お茶と雑談のみの方は事前申込は必要なし)

◎みんなであそぼう
(長井市子育て支援地域出前広場)
日時：9月20日(木) 10:00~11:30
場所：老人福祉センター
対象：中央地区の人で、0歳~未就園児とその家族の方

◎第2回 ぼくらの文楽
日時：9月22日~23日 11:00~21:00
会場：古代の丘 縄文村
駐車場：あやめ公園河川敷駐車場
(会場までは、シャトルバスでの移動となります。)
問合せ先：西根地区公民館 84-6326

◎第2回 ながい黒獅子大綱引き大会
日時：9月30日(日) 10時開始
場所：長井ダム提体の上
駐車場：まなび館に集合し、シャトルバスで移動します。(去年は、飛び入り参加があり。今年も、飛び入り参加大歓迎です。)
大会終了後、参加者にはいも煮の振舞があります。

◎祝瓶山の市民登山 10/6~10/7

◎もとまち青空フェスティバル 10/7(日)

◎1000人いも煮会 10/8(祝・体育の日)

黒獅子大綱引き大会以後のイベントは、これからの市報に掲載されますので、詳しくは市報をご覧ください。

各地区のお祭り(例大祭)情報

◎小出のお祭り(例大祭)：9月15、16日
小出・白山神社とつつじ公園内にある、皇太神社から黒獅子が出て、小出地区を獅子舞をしながら、商店や家々を2日間かけて巡って歩きます。

◎宮のお祭り(例大祭)：9月15、16日
総宮神社から黒獅子が出て、宮地区にある商店や各家々を獅子舞をしながら巡って歩きます。

まちなかスポット

子育て地蔵十王堂

ヨークベニマルの3軒北隣に、小さなお堂があります。お堂の名前は「十王堂」となっていますが、ご本尊は木造の地蔵菩薩立像で、祭壇の下には閻魔大王を始めとする中国風の官服を着た十王の木像が祀られています。なので、信仰の中心は「子育て地蔵」であり、お堂の左脇には等身大の石の地蔵様が安置されております。

普段の日も、朝早くから子供の無事成長やいろいろな病気や障害をとり除いてくれるよう願っている母親の姿があります。

言い伝えでは、江戸時代の始め頃(約300年前)に祀られたお堂で、子育て・火除の仏様として尊信されていて、嘉永5年の小出大火の時には、お堂は全焼したが地蔵様は、ひとりでの西の畑に避難し、人々を驚かせたとのことです。

お堂の名前の十王(十王信仰)とは、人が死ぬと7日目毎に49日まで7回、百か日、1年、3年の忌日にあの世の裁判所を10ヶ所まわり、生前の行ないを10人の裁判官から厳しい裁判をうけ、3年かかって最終の判決が決まることになっていて、この10人の裁判官が十王であります。

だから、生きているうちに十王を祀り、死んでからの「裁判の時は、よろしくをお願いします。」とお願いしておくのが十王信仰で、5番目の裁判官の閻魔大王だけが有名になり、十王を代表して閻魔大王ひとりが地獄の最高長官となり、死者の生前の行ないを裁判すると考えられたようです。

何もなく元気な時でも、子供が夜泣きして困った時でも、一度お参りをしてはどうでしょうか。



*例大祭の時、家々では御神酒(おみき)を準備して、お獅子が来るのを待っています。お獅子が来たら、警護が御神酒をお獅子に飲ませた後に、「ご心信(しんじん)」と「歯打ち」をしてもらって、家内安全を願います。

あとがき

9月もさまざまなイベントがあります。気になる行事に参加して、楽しんでください。